

平成28年度

けやき学習指導案 (総合的な学習の時間)



- 学 級 3年3組
- 单元名 「生き方を考える」
『進路選択をする上で大切なこと』
- 指導者 高橋 将道

盛岡市立上田中学校

第3学年 けやき学習（総合的な学習の時間）学習指導案

指導者 高橋 将道

1 日 時 平成28年7月1日（金） 公開授業② 第2校時

2 学 級 上田中学校 3年3組 男子19名 女子16名 計35名 南校舎2階3年3組教室

3 主 題 「生き方を考える」

4 主題について

3学年に行う「けやき学習」は、修学旅行での「職場訪問学習」と「自分史の作成」、そして「進路学習」である。「進路学習」については、義務教育修了を間近にした生徒たちがこれまでの自分を振り返りつつ、主体的に進路について考え選択することが大切である。そのために、目標とする進路を達成するための探求活動を通して進路に対する意識を高めさせたい。学習指導要領との関連性については、第3の2（7）「職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにすること」を主と捉え、指導を進める。

生徒は、1学年で行った「職業調べ」を通して、世の中の職業について学んだ。また、2学年で行った「職場体験」では、働いている人々に実際に接して、働くことの意義について考えを深めた。3学年で行う職場訪問では、東京で働く人々の姿から、生き方について学んできた。これまでの体験学習や調査活動で深めてきた生き方に対する考えを基に、主体的に進路選択することができる力を育てていきたい。

本単元の後半部分では、学習内容を「進路選択する上で大切なこと」とする。自己の考えがどのように変容していったのか、自己評価シートの記述を通して学習の過程で実感させたい。また、生徒一人ひとりの主体的な態度や、他者と建設的に意見交流をする中で、進路選択に向けた自己の考えが深まることを目指したい。

5 指導と評価の計画（別紙）

6 本時の目標

自分自身に関すること	自分の希望する進路を達成するために、高校体験入学で知りたいことを自分なりに明らかにしている。 〈生徒の記述例〉 私は、部活動に取り組んでいる先輩の雰囲気や、高校の先生が進める授業の雰囲気を知りたいです。なぜなら、私が高校選択で重視した進学先は調べればわかるし、部活動の種類も調べればわかるので、体験入学で実際に訪れたからこそわかることを知りたいと思ったからです。
------------	---

7 本時の指導構想

(1) 本時のねらい

高校体験入学で知りたいことを、思考ツールやかかわり合いを通して、明らかにさせる。

(2) 「論理の意識化を図る学習活動」に関わって

【考えがいのある課題設定】

学習課題を「高校体験入学で知りたいことは何か」と設定する（3 学習課題を把握する。）。

課題解決の基になるのは「ピラミッドランキング」で整理・分析した「高校選択で大切にしたいこと」である。

【「論理の思考型」を用いた言語活動】

自己決定の場面で、演繹的思考を用いる（6 学習課題に対する自分の考えを、理由とともに記述する。）。
ピラミッドランキングで考えた項目を根拠とし、他者の考えを基に理由づけする、演繹的思考を用いる。

【かかわり合い】

本時では2度のかかわり合いを設定する。

1度目は、実際に体験入学に行ってから知ることができる内容であるかを話し合う場面である。（6 自分の考えを交流する。）。

2度目は、1度目のかかわり合いから、体験入学で知りたいことについてより具体的に理由とともに発表する（7 考えを共有する。）。

【自己評価活動】

終末において自己評価活動を行う（8 自己評価を行う。）。

他者とのかかわり合いから考えの確かさを知ったことや、別の考えがあることを知ったことについて記述させたい。また、単元の学習活動全体へ取り組む意欲につなげる内容も記述させたい。

指導と評価の計画

3年 けやき		単元名 「生き方を考える」 (「進路選択をする上で必要なこと」)		総時間	7時間扱い
学習指導要領との関連			単元の目標		
第3の2 (2) 問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。 (5) グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となって指導にあたるなどの指導体制についても工夫を行うこと。 (7) 職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにすること。			現在あるいは将来について、自分の望ましい生き方・在り方や目指す姿を考える活動を通して、中学卒業後の進路に対する考えをもち、進路選択に向けた能力や態度を育てる。		
学習方法		自分自身		他者や社会とのかかわり	
課題の設定		表現省察		他者理解・協同	
自分自身を客観的に捉えた上で、進路選択をする上で何が必要なのかを考え、自分にとって価値ある課題を設定している。		調査活動を通して分かったことや新たな疑問を明確にし、自分の進路と関連付けて表現している。		仲間と協同しながら、他者の考えも認め、自分の考えを客観的に捉えている。	
計画・実行		将来展望			
全体の課題に対し、課題を解決するための計画を立て、計画を見直しながら実行している。		自己の成長をとらえ、今の自分が進路達成するために必要なことは何なのか考えをもっている。			
時	主な学習内容	評価規準		評価事例	
1	・進路学習オリエンテーション ・全体テーマの確認 【課題の設定】	計画・実行 希望する進路の方向性や、達成までの過程を明らかにし、これからの学習に意欲をもつことができる。		7 課題を設定する場面 学習課題「高校体験入学で知りたいことは何か」に対して、自己決定をする場面。	
2 5 (本時5)	・進路選択に必要な情報の収集 【情報の収集】 ・進路選択に必要な情報の整理分析 【整理・分析(本時)】 ・計画・実行 (体験入学に参加) 【情報の収集】	計画・実行 中学卒業後の進路について学び、自分にとって必要な情報を収集し、まとめることができる。 他者理解・共同 自分と他者の調査内容を比較分析し、高校体験入学を通して明らかにすることの視点を増やすことができる。 計画・実行 自分の希望する進路を達成するために、高校体験入学で知りたいことを自分なりに明らかにしている。		■生徒の記述例 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 私は、吹奏楽部の部活動に先輩たちがどのように取り組んでいるかを知りたいです。なぜなら、私が高校選択で重視した進学先は調べればわかるし、部活動の種類も調べればわかるので、体験入学で実際に訪れたからこそわかることを知りたいと思ったからです。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 私は、高校での授業の進め方について知りたいと思います。なぜなら、私は大学進学を目指しています。大学進学に必要な学力は、授業の進め方が自分に合っているかも大きくかかわってくると思うので、自分が実際に授業を受けて、知りたいと思ったからです。 </div>	
6	・調査活動の整理・分析 【整理・分析】	表現省察 高校体験入学を通して明らかになったことを整理・分析しまとめることができる。 他者理解・協同 自分と他者の調査内容を比較分析し、良さを見つけることができる。			
7	・調査活動のまとめ、発表 【まとめ・表現】	表現省察 高校体験入学を通して明らかになったことを個人課題に関連付けてまとめ、発表することができる。 他者理解・共同 自分と他者の調査内容を比較分析し、よさを見つけることができる。		自分の希望する進路を達成するために、高校体験入学で知りたいことを自分なりに明らかにしている。	

平成28年度

けやき学習指導案 (総合的な学習の時間)



- 学 級 3年3組
- 单元名 「生き方を考える」
『進路選択をする上で大切なこと』
- 指導者 高橋 将道

盛岡市立上田中学校

第3学年 けやき学習（総合的な学習の時間）学習指導案

指導者 高橋 将道

1 日 時 平成28年7月1日（金） 公開授業② 第2校時

2 学 級 上田中学校 3年3組 男子19名 女子16名 計35名 南校舎2階3年3組教室

3 主 題 「生き方を考える」

4 主題について

3学年に行う「けやき学習」は、修学旅行での「職場訪問学習」と「自分史の作成」、そして「進路学習」である。「進路学習」については、義務教育修了を間近にした生徒たちがこれまでの自分を振り返りつつ、主体的に進路について考え選択することが大切である。そのために、目標とする進路を達成するための探求活動を通して進路に対する意識を高めさせたい。学習指導要領との関連性については、第3の2（7）「職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにすること」を主と捉え、指導を進める。

生徒は、1学年で行った「職業調べ」を通して、世の中の職業について学んだ。また、2学年で行った「職場体験」では、働いている人々に実際に接して、働くことの意義について考えを深めた。3学年で行う職場訪問では、東京で働く人々の姿から、生き方について学んできた。これまでの体験学習や調査活動で深めてきた生き方に対する考えを基に、主体的に進路選択することができる力を育てていきたい。

本単元の後半部分では、学習内容を「進路選択する上で大切なこと」とする。自己の考えがどのように変容していったのか、自己評価シートの記述を通して学習の過程で実感させたい。また、生徒一人ひとりの主体的な態度や、他者と建設的に意見交流をする中で、進路選択に向けた自己の考えが深まることを目指したい。

5 指導と評価の計画（別紙）

6 本時の目標

自分自身に関すること	自分の希望する進路を達成するために、高校体験入学で知りたいことを自分なりに明らかにしている。 〈生徒の記述例〉 私は、部活動に取り組んでいる先輩の雰囲気や、高校の先生が進める授業の雰囲気を知りたいです。なぜなら、私が高校選択で重視した進学先は調べればわかるし、部活動の種類も調べればわかるので、体験入学で実際に訪れたからこそわかることを知りたいと思ったからです。
------------	---

7 本時の指導構想

(1) 本時のねらい

高校体験入学で知りたいことを、思考ツールやかかわり合いを通して、明らかにさせる。

(2) 「論理の意識化を図る学習活動」に関わって

【考えがいのある課題設定】

学習課題を「高校体験入学で知りたいことは何か」と設定する（3 学習課題を把握する。）。

課題解決の基になるのは「ピラミッドランキング」で整理・分析した「高校選択で大切にしたいこと」である。

【「論理の思考型」を用いた言語活動】

自己決定の場面で、演繹的思考を用いる（6 学習課題に対する自分の考えを、理由とともに記述する。）。
ピラミッドランキングで考えた項目を根拠とし、他者の考えを基に理由づけする、演繹的思考を用いる。

【かかわり合い】

本時では2度のかかわり合いを設定する。

1度目は、実際に体験入学に行ってから知ることができる内容であるかを話し合う場面である。（6 自分の考えを交流する。）。

2度目は、1度目のかかわり合いから、体験入学で知りたいことについてより具体的に理由とともに発表する（7 考えを共有する。）。

【自己評価活動】

終末において自己評価活動を行う（8 自己評価を行う。）。

他者とのかかわり合いから考えの確かさを知ったことや、別の考えがあることを知ったことについて記述させたい。また、単元の学習活動全体へ取り組む意欲につなげる内容も記述させたい。

指導と評価の計画

3年 けやき		単元名 「生き方を考える」 (「進路選択をする上で必要なこと」)		総時間	7時間扱い
学習指導要領との関連			単元の目標		
<p>第3の2</p> <p>(2) 問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。</p> <p>(5) グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ全教師が一体となって指導にあたるなどの指導体制についても工夫を行うこと。</p> <p>(7) 職業や自己の将来に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動が行われるようにすること。</p>			<p>現在あるいは将来について、自分の望ましい生き方・在り方や目指す姿を考える活動を通して、中学卒業後の進路に対する考えをもち、進路選択に向けた能力や態度を育てる。</p>		
学習方法		自分自身		他者や社会とのかかわり	
課題の設定		表現省察		計画・実行	
<p>自己自身を客観的に捉えた上で、進路選択をする上で何が必要なのかを考え、自分にとって価値ある課題を設定している。</p>		<p>調査活動を通して分かったことや新たな疑問を明確にし、自分の進路と関連付けて表現している。</p>		<p>全体の課題に対し、課題を解決するための計画を立て、計画を見直しながら実行している。</p>	
				将来展望	
				他者理解・協同	
				<p>自己の成長をとらえ、今の自分が進路達成するために必要なことは何なのか考えをもっている。</p>	
				<p>仲間と協同しながら、他者の考えも認め、自分の考えを客観的に捉えている。</p>	
時	主な学習内容	評価規準		評価事例	
1	<ul style="list-style-type: none"> 進路学習オリエンテーション 全体テーマの確認 <p>【課題の設定】</p>	<p>計画・実行 希望する進路の方向性や、達成までの過程を明らかにし、これからの学習に意欲をもつことができる。</p>		<p>7 課題を設定する場面</p> <p>学習課題「高校体験入学で知りたいことは何か」に対して、自己決定をする場面。</p>	
2 5 (本時5)	<ul style="list-style-type: none"> 進路選択に必要な情報の収集 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路選択に必要な情報の整理分析 <p>【整理・分析(本時)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画・実行(体験入学に参加) <p>【情報の収集】</p>	<p>計画・実行 中学卒業後の進路について学び、自分にとって必要な情報を収集し、まとめることができる。</p> <p>他者理解・共同 自分と他者の調査内容を比較分析し、高校体験入学を通して明らかにすることの視点を増やすことができる。</p> <p>計画・実行 自分の希望する進路を達成するために、高校体験入学で知りたいことを自分なりに明らかにしている。</p>		<p>■生徒の記述例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>私は、吹奏楽部の部活動に先輩たちがどのように取り組んでいるかを知りたいです。なぜなら、私が高校選択で重視した進学先は調べればわかるし、部活動の種類も調べればわかるので、体験入学で実際に訪れたからこそわかることを知りたいと思ったからです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>私は、高校での授業の進め方について知りたいと思います。なぜなら、私は大学進学を目指しています。大学進学に必要な学力は、授業の進め方が自分に合っているかも大きくかかわってくると思うので、自分が実際に授業を受けて、知りたいと思ったからです。</p> </div> </div>	
6	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動の整理・分析 <p>【整理・分析】</p>	<p>表現省察 高校体験入学を通して明らかになったことを整理・分析しまとめることができる。</p> <p>他者理解・協同 自分と他者の調査内容を比較分析し、良さを見つけることができる。</p>			
7	<ul style="list-style-type: none"> 調査活動のまとめ、発表 <p>【まとめ・表現】</p>	<p>表現省察 高校体験入学を通して明らかになったことを個人課題に関連付けてまとめ、発表することができる。</p> <p>他者理解・共同 自分と他者の調査内容を比較分析し、よさを見つけることができる。</p>		<p>自分の希望する進路を達成するために、高校体験入学で知りたいことを自分なりに明らかにしている。</p>	

